



慶應風月会

(慶應義塾教職員定年退職者の会)

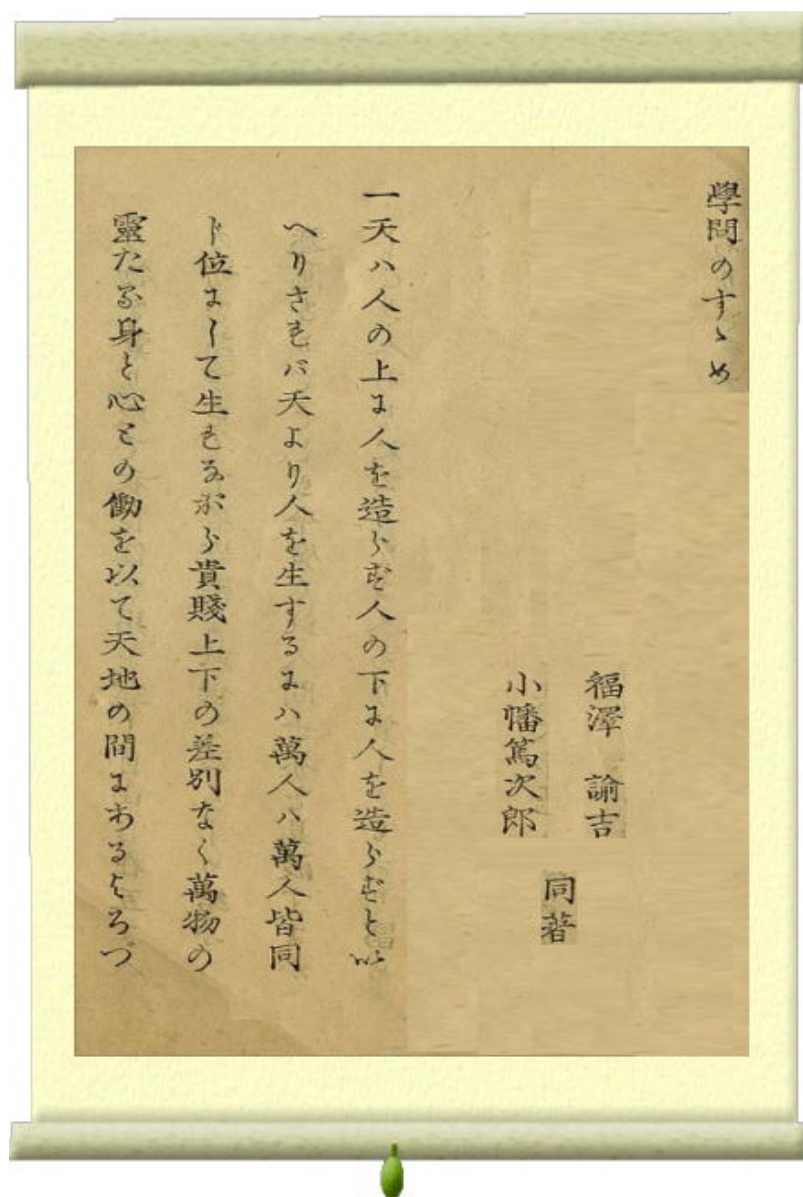
結成50年記念誌

風月会の会名は、福澤先生が晩年に詠まれた七言律詩「秋日偶成」の中の「風」「月」から採られたものです。 富田正文著『福澤諭吉の漢詩 35 講』（会名の由来参照）

秋日偶成

出處豈唯山與官
市城塵裏一身安
風吹落葉髮漸白
月照清霄心獨丹
故舊有親稱莫逆
妻兒無恙共團欒
老餘樂事濃談笑
沽酒三杯秋不寒

學問のすゝめ (序文)



學問のすゝめ序文については、14 ページ以降の奥泉栄三郎氏作成の特別エポック・レターを
読んで、参考にして下さい

目 次

1. 会名の由来	1
2. 会長就任歴	2
3. 追想	
・新しい思考を求続けた大先輩 井 口 悦 男	3
・「あおいくま」 山本真知子	4
4. 風月会略年表	5 ～ 13
5. 奥泉栄三郎氏作成の特別エポック・レター	14 ～ 16

会名の由来

福澤先生が晩年に詠まれた七言律詩「^{しゅうじつぐうせい}秋日偶成」の中の「風」「月」から採られたものです。

富田正文著『福澤諭吉の漢詩 35 講』を以下に記します。(福澤諭吉協会叢書)

出 處 豈 唯 山 與 官
市 城 塵 裏 一 身 安
風 吹 落 葉 髮 漸 白
月 照 清 霄 心 獨 丹
故 舊 有 親 稱 莫 逆
妻 兒 無 恙 共 團 欒
老 餘 樂 事 濃 談 笑
沽 酒 三 杯 秋 不 寒

^{あき ひ} 秋の日に^なたまたま成れる

^{しゅつしよ あ た さん かん} 出 處 は 豈 に 唯 だ 山 と 官 と の み な ら ん や
^{かぜ らくよう ふ かみ} 風 は 落 葉 を 吹 い て 髪 よ う や く 白 く
^{こきゅうした あ ばくげき しよう} 故 旧 親 し み 有 り 莫 逆 と 称 し
^{ろうよ らくじ だんしろうこ} 老 余 の 樂 事 は 談 笑 濃 ま や か に

^{し じょう じん り いっしんやす} 市 城 の 塵 裏 に も 一 身 安 し
^{つき せいしろう て ところ あか} 月 は 清 霄 を 照 ら し て 心 ひ と り 丹 し
^{さいじ とも だんらん} 妻 兒 つ つ が な く 共 に 団 欒 す
^{さけ か さんばい あき さむ} 酒 を 沽 い て 三 杯 す れ ば 秋 も 寒 か ら ず

人間の暮らし方は、出でて官に仕えて豪勢な楼閣に住み、しりぞいては山野に隠れ棲むというだけとは限らない。まちなかのごみごみしたところに居ても、一身を安らかに保つことができるものだ。今や季節は秋、わたしの人生も盛りを過ぎた。落ち葉が風に吹き寄せられているのを眺めているこのわたしの髪の毛もようやく白髪がふえてきた。雲ひとつないおおぞらを隈なく照らしている秋の月のように、わたしの心もなんの陰もなくただまごころあるのみだ。むかしからの友だちは親しみ合って互に莫逆の友と許し合い、妻や兒たちも何の障りもなく相集まって睦み楽しんでいる。年をとってからの楽しみは、友人や家族が集まって、こまごまとした談笑のうちに時を過ごすことで、そこで買ってきた酒を盃を挙げて三杯ものめば、秋の寒さも気にならず、天下泰平の気分になれるというわけである。

会長就任歴

西暦 和暦

1979 昭和 54 年 初代会長 西岡秀雄 元商学部教授
西岡会長の就任年については、正式記録文書保管なし



1995 平成 7 年 阪埜光男 元法学部教授



2006 平成 18 年 小林賢三 元理工学部教授



2012 平成 24 年 吉野肇一 元看護医療学部教授



追想西岡秀雄君

——新しい思考を求続けた大先輩

井口悦男（慶應義塾大学名誉経論）



慶應義塾大学名誉教授 西岡秀雄君
平成二十三年八月一日逝去
享年九十七

西岡さんと話せる機会は、いつも、今度はなにで啓発されるか楽しみであった。国の内外の話題であれ、民俗的なオモチャの見方であれ、世界のトイレ事情であれ、坦々と話され尽きないうちに、目の醒める思いが高まり、淀みがちな当方の思考に、積極的な活力を呼び起こす不思議な話術を貯えられている方であった。さり気なく後輩を元気にさせる先輩であり続けられた。

技術系のお家育ちで、合理的客観的視野を広げられ、大正初期生まれ史学科同級三羽鳥の一人として学究の道を歩まれた。第二次大戦下には学卒将校として外地も踏まれ、その折ご当人の話として、ベトナムの空港で、土器片散布に思わず腰をかがめ採集されていたのを、士官学校出の上官が見て、周囲の部下に「航空学専攻の西岡士官を見習え。空港の障害物を率先して自ら除去活動されるとは」。その上官に大学での専攻を聞かれ「考古学であります」と答えたのだがネト。

師の卓越した整理力に圧倒されたのは、昭和十四年であったと思うが、日米学生会議交歓時の記念アルバムを拝見した時、その部厚さの上に、船旅に始まる数々の記念品を、ハワイでのパイン罐の上紙をはじめ、キチンと貼り込まれ、それぞれコメント付きなのにはただただ感嘆するばかり。その上に、田園調布のお宅の増築部分、ワンルームの書斎は、三方棚作りで「本は一年に一・五m分必要」と言われて、これもびっくり。一隅に旋盤が鎮座していた。その広間で、奥様をまじえ、学生の集いが重ねられた。フォークダンスの「山の娘ロザリア」講習会で、ここの冷房なし練習は忘れられない。

地球の『寒暖七〇〇年周期説』は、西岡さんの金字塔のひとつとして、海外で不動の評価を得られている。その実証補足に、京都現存古社寺建造物の詳細な方位調査に、ある夏お供したことがあり、精密な分度器を発案されていた。豊中の奥様の里での朝食に出された「いちじく」の味は格別で、いま自分の夏の定番に組み込まれている。西岡さんの発案で、学友数人と借りた自転車で、舗装の少なかった当時の旧東海道中心の道路調査を実施し、思わぬ見聞を得られたが、詳細な報告は、師のアルバムの例に従った。その後も学生との自転車旅行を重ねられる一方、タイのチュラロンコン大学に出講されたり、マチュピチュ遺蹟を先導されたり、福澤先生の交詢社の新版B R B開設に助言されたり。

定年後、大田区立郷土博物館館長を永く務められ、玩具の民俗地理学的視野からのユニークな発想を、莫大な蒐集をもとに続けられた。一方、早くから環境問題としてのトイレ改良に力を込められた。それにしても、学生と一緒に気を配られ続けた奥様に先立たれたことは、大きな痛手と、共に薫陶を受けた敬友佐藤仁威氏と、ご夫妻の冥福を祈りつつ、幅広い活動に思いを馳せる。

阪埜光男先生と

「あおいくま」

山本真知子 (甲南大学法学部教授・塾員)



慶應義塾大学名誉教授、元常任理事

阪埜光男君

平成二十八年十一月六日逝去

享年八十三

阪埜光男先生は、平成五年三月にご退職なさるまで慶應義塾大学法学部法律学科、大学院法学研究科で商法を担当されていた。昭和七年渋谷区のお生まれで、幼少期に駅前で銅像ではなく動く「ハチ公」を見たことがあるとおっしゃっていた。小学校ではひらがなよりも先に「サクラサク」とカタカナを習われたそうである。都立西高等学校を経て慶應義塾大学法学部にご入学、大学院を経て昭和三十二年四月に法学部助手、三十八年に助教授になられた。助教授時代の昭和四十四年に、一橋大学名誉教授の田中誠二先生に「学術書として、熟読して示唆を受けるに値する貴重な研究」(法学研究四三巻二号、昭和四十五年)と評された『新株引受権の法理』(慶應通信)を著された。

その後昭和四十五年に教授になられ、株主の利益保護重視の観点から研究を続けられ、その成果は平成二年の『株式会社法の論理』(成文堂)にまとめられている。また、学内においては法学部長、法学研究科委員長、常任理事(学務担当)、体育会理事、学外においては司法試験第二次試験考査委員、法制審議会商法部会委員等を歴任された。旧西ドイツのザールラント大学への留学、カリフォルニア大学バークレー校における客員研究員を経験された先生は、グルメでビールがお好きであった。慶應ご退職までの略歴・主要著作は、退職記念号である法学研究六六巻一二号(平成五年)に掲載されている。ご退職後も、平成十一年まで桐蔭学園横浜大学[現桐蔭横浜大学]教授(平成九年まで初代法学部長、学園理事)、その後平成十八年までは駿河台大学法学部教授として教鞭をとられ、活躍された。

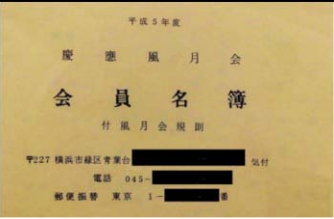
わたくしは、大学のゼミと大学院の修士課程に おいて指導教授として先生にご指導いただいた。今では一般的かもしれないが、会社法の講義を設立ではなく株式から始めることは先生に教えていただいた。専門分野以外では、大変お母様思いであったことと、先生のオリジナルなのかどうかはうかがわなかったが、「あおいくま」が大事だとおっしゃっていたのが記憶に残る。「あせらない、おこらない、いらいらしない、くよくよしない、まけない、の頭文字」とのことである。人生に起こるできごとを、静かに受け流し、しかし、最後は負けないという、冷静かつ力強い姿勢が、印象深い。

先生が慶應義塾大学をご退職なさってからも、研究会等でお目にかかっていたが、大学での職を退かれてからは、わたくしが関西に職を得たのもあって失礼をし、最近はその機会を逸していた。個人的なことではあるが、来年度関東での国内研究が決まり、余裕をもって先生を訪ねさせていただこうと思っていたところに訃報に接し、慚愧に堪えない。「あせってはいけない」が、「ゆっくりし過ぎてはいけない」ことを最期に教えていただいた。慎んで哀悼の意を表し、追想の文としたい。

風月会略年表

発足から 10 年:昭和 45 年(1970 年)～ 昭和 54 年(1979 年)		
風月会の出来事		
昭和 45 年 (1970)	10月	20～30 名の有志により風月会が結成 事務局：慶應工学会内借用（新宿紀伊国屋ビル） 当時の資料がないため詳細は不明。
昭和 48 年 (1973)	11月 27 日	風月会規則制定 （目的）本会は、会員相互の親睦と連絡を図り、併せて生活の向上に努めるとともに、慶應義塾の発展に寄与することを目的とする。 （会員数約 100 名）
昭和 54 年 (1979)		 初代会長 西岡秀雄（元商学部教授）就任 西岡会長の就任時期は不明ですが、義塾の退職時期から推定すると、義塾退職直後の昭和54年に、大田区立郷土博物館館長に就任していますので、ほぼそれと同時に風月会会長に就任したと考えるのが妥当と思われます。 正確に把握できているのは平成 5 年（会員数 337 名）からです。
慶應義塾の出来事		
昭和 43 年 (1968)	4月 1 日	定年制実施、退職金・年金制度改定 定年規程によれば、「専任の職員は年齢満65歳をもって定年とし、定年に達した日の属する学年末に退職となる。5年間の移行措置をもって完全実施」と書かれています。
昭和 47 年 (1972)	11月 20 日	入学金・授業料（在学科）等学費の改定、評議員会で決定 12/1 日吉学生大会、学費値上げ白紙撤回を求め無期限ストライキ決議（7 日バリケード封鎖）、その後、四谷学生大会、三田全学学生大会でストライキが決議されました。 
昭和 48 年 (1973)	4月 6 日	大学入学式中止発表
	5月	塾長に久野洋選任
昭和 49 年 (1974)	4月	伊勢慶應病院開院（平成15年(2003)9月閉院）
	7月	塾監局紀要創刊
昭和 52 年 (1977)	4月	月が瀬リハビリテーション・センター竣工（平成23年（2011年）閉院）
	5月	塾長に石川忠雄選任（1 期目）「転換と模索の時代」
	8月 10 日	労働組合と四問題の和解成立 四問題とは、（1）生理休暇の取り扱いにつて （2）欠勤・遅刻・早退ならびに私用外出に対する賃金控除制度の取り扱いおよび普通（年次有）休暇の付与日数等について （3）懲戒処分 of の取り扱いについて （4）厚生女子学院卒業生の不採用の件

社会の出来事 昭和45年(1970年) ～ 昭和54年(1979年)		
昭和45年(1970) 大阪万博、よど号ハイジャック事件、三島由紀夫割腹自決 昭和46年(1971) マクドナルド日本1号店オープン（銀座）、ニクソン・ショック、カップヌードル発売 昭和47年(1972) 浅間山荘事件、沖縄返還、田中角栄内閣発足 昭和48年(1973) 第一次オイルショック、ハイセイコーが大旋風、江崎玲於奈ノーベル賞受賞 昭和49年(1974) 三菱重工爆破事件、三木武夫内閣発足、ニクソン米大統領辞職 昭和50年(1975) 3億円事件時効、ベトナム戦争終結、第1回サミットがフランスで開催 昭和51年(1976) ロッキード事件で田中角栄元首相逮捕、福田赳夫内閣発足 昭和52年(1977) 日本の領海を12海里と定める、ダッカ日航機ハイジャック事件 昭和53年(1978) 高層ビルサンシャイン60完成、日中平和友好条約調印、大平正芳内閣発足 昭和54年(1979) スリーマイル島原子力発電所事故、東京サミット開催、ソ連アフガニスタン侵攻		
発足 11 年から 20 年:昭和 55 年(1980 年)～ 平成元年(1989 年)		
風月会の出来事		
昭和 55 年（1980）～ 平成元年（1989）	特記事項無し	
慶應義塾の出来事		
昭和 55 年 （1980）	3月31日	医学部付属厚生女子学院進学科二部（定時制）の廃止・学生募集の停止
昭和 56 年 （1981）	5月	石川塾長重任（2 期目）
	12月8日	慶應義塾図書館（新館）新築工事竣工披露
昭和 58 年 （1983）	5月15日	創立125年記念式典日吉記念館にて举行
昭和 59 年 （1984）	4月23日	日吉開設50年記念式典日吉記念館にて举行
昭和 59 年 （1984）	7月	選択定年制度施行 この制度では、満 55 歳以上の専任教職員のうち満 20 年以上在職した者は、本人 が希望すれば年度末に定年退職が適用され、中でも特に在職 30 年以上で満 60 歳に達する日 の属する学年末を経過した者については、各月末をもって定年退職できるように定められています。
昭和 60 年 （1985）	1月10日	福澤諭吉生誕150年記念式典三田西校舎518番教室にて举行
	5月	石川塾長重任（3 期目）
昭和 63 年 （1988）	4月	看護短期大学開設（平成2年（1990）3月厚生女子学院閉校）
平成元年 （1989）	5月	石川塾長重任（4 期目）
社会の出来事 昭和55年(1980年) ～ 平成元年(1989年)		
昭和55年(1980) 第二次オイルショック、新宿西口バス放火事件、鈴木善幸内閣発足、モスクワオリンピックで日本チームボイコット 昭和56年(1981) 初のスペースシャトル「コロンビア」打ち上げ		

昭和57年(1982) 中曽根康弘内閣発足、テレホンカード発売開始、ホテルニュージャパン火災 昭和58年(1983) 東京ディズニーランド開園、任天堂ファミコン発売、昭和59年(1984) グリコ・森永事件、福澤諭吉1万円紙幣(D号券)発行 昭和60年(1985) 民営化でNTTとJTが設立、日本航空123便墜落事故 昭和61年(1986) チェルノブイリ原発事故、東京サミット(東京で2回目)開催 昭和62年(1987) 国鉄分割民営化・JR6社発足、ブラックマンデー(世界的株価大暴落)、竹下登内閣発足、昭和63年(1988) 東京ドーム完成、瀬戸大橋完成、青函トンネル完成、リクルート事件(贈収賄事件)発覚、三億円事件時効 平成元年(1989) 昭和天皇崩御(昭和から平成に改元)、天安門事件発生、消費税(3%)導入、宇野宗佑内閣発足、海部俊樹内閣発足		
発足 21 年から 30 年:平成 2 年(1990 年)～ 平成 11 年(1999 年)		
風月会の出来事		
平成 5 年 (1993)		会員数 337 名(現存の一番古い会員名簿から) これ以外の特記事項無し (平成 5 年発行の会員名簿) 
平成 7 年 (1995)		2 代目会長 阪埜光男(元法学部教授)就任(会員数 365 名) 阪埜会長からの会長就任歴は正確に把握できています。
		事務局:三田山上前のビル内の旅行三田会内借用
慶應義塾の出来事		
平成 2 年 (1990)	4 月	湘南藤沢キャンパス(SFC)開設
	9 月	大学部開設 100 年記念式典
	10 月	ニューヨーク学院(高等部)開設
平成 5 年 (1993)	5 月	塾長に鳥居泰彦選任(1 期目)「日本の慶應義塾から世界の慶應義塾へ」
平成 7 年 (1995)	1 月	医学部キャンパスの呼称を「四谷」から「信濃町」の変更
平成 9 年 (1997)	5 月	鳥居塾長重任(2 期目)
平成 10 年 (1998)	11 月	ハラスメント防止委員会設置(セクハラ・アカハラ・パワハラ・アルハラ)
社会の出来事 平成2年(1990年)～ 平成11年(1999年)		
平成2年(1990) 大学入学センター試験(第1回)実施、東西ドイツが統一 平成3年(1991) 湾岸戦争勃発、都庁が丸の内から新宿へ移転、宮澤喜一内閣発足、ソビエト連邦崩壊 平成4年(1992) 山形新幹線開通 平成5年(1993) 東京サミット(東京で3回目)開催、55年体制崩壊・細川護熙連立内閣発足、欧州連合(EU)発足 平成6年(1994) 羽田孜内閣発足、松本サリン事件、村山富市内閣発足 平成7年(1995) 阪神・淡路大震災発生、地下鉄サリン事件、Windows95発売 平成8年(1996) 橋本龍太郎内閣発足、ペルー日本大使館公邸占拠テロ事件 平成9年(1997) 秋田新幹線開通、消費税5%、北海道拓殖銀行経営破綻、山一証券破綻 平成10年(1998) 郵便番号7桁化、明石海峡大橋開通、小渕恵三内閣発足 平成11年(1999) i モードサービス開始、コンピュータの2000年問題対応に迫られる		

今年の漢字（1995年(平成7年)から日本漢字能力検定協会が選んだその年の世相を表す漢字です）
 1995(震) 阪神・淡路大震災、地下鉄サリンなど天災や事件に震えた年。
 1996(食) O157による集団直中毒が発生し、学校給食などに影響。狂牛病も発生。
 1997(倒) 大型企業の倒産や銀行の破綻。サッカーでアジアのライバルを倒しワールドカップ出場。
 1998(毒) 和歌山毒物カレー事件など毒物混入事件発生、ダイオキシンなどの不安高まる
 1999(末) 1000年代、1900年代、1990年代の末。世紀末。翌年末広がり期待。

発足 31 年から 40 年:平成12年(2000 年)～ 平成 21 年(2009 年)

風月会の出来事

平成 15 年 (2003)		事務局：三田川崎ビル慶應工学会事務室内借用
平成 18 年 (2006)		 3代目会長 小林賢三(元理工学部教授)就任 (会員数 366 名)
	5月27日	春季総会開催(信濃町キャンパス)
平成 19 年 (2007)	4月7日	第1回 一日江戸散歩(日本橋めぐり 参加者 24 名) 講師：白石 孝(元商学部教授)
	10月20日	第2回 一日江戸散歩(深川を歩く会 参加者 26 名)
	12月1日	秋季総会開催(信濃町キャンパス)
平成 20 年 (2008)	4月1日	事務局：現在まで三田キャンパス婦人室内借用。
	5月12日	風月会規則内規制定 年会費を3年以上滞納したときは退会者とする。
	5月17日	春季総会開催(信濃町キャンパス)
	11月29日	秋季総会開催(信濃町キャンパス)
	11月15日	第3回 一日江戸散歩(神楽坂を歩く会 参加者 28 名)
平成 21 年 (2009)	5月30日	春季総会開催(信濃町キャンパス) 風月会クラブ創設(囲碁クラブ、ゴルフクラブ、テニスクラブ) 現在は、囲碁クラブのみ存続。
	10月31日	秋季総会開催(信濃町キャンパス)

慶應義塾の出来事

平成 12 年 (2000)	4月	新川崎タウンキャンパス開設
	7月	丸の内シティキャンパス開設
	12月	第2回世紀送迎会(12/31)
平成 13 年 (2001)		看護医療学部開設
		鶴岡タウンキャンパス開設

	5 月	塾長に安西祐一郎選任（1 期目）「慶應義塾 21 世紀社会の先導者たらしめること」
平成 17 年 (2005)	5 月	安西塾長重任（2 期目）
平成 20 年 (2008)	4 月	共立薬科大学と法人合併
	5 月	大阪リバーサイドキャンパス開設（平成 25 年（2013）2 月閉鎖）
	11 月	創立 150 年記念式典日吉キャンパスにて挙行（11/8） 
平成 21 年 (2009)	4 月	職員の完全週休 2 日制正式施行
	5 月	塾長に清家 篤選任（1 期目）「持続可能なキャンパス」

社会の出来事 平成12年(2000年) ～ 平成21年(2009年)

平成12年(2000) コンピュータ2000年問題（Y2K）混乱なし、森喜朗内閣発足、世田谷一家殺害事件、二千円札発行、九州・沖縄サミット開催 平成13年(2001) 小泉純一郎内閣発足、付属池田小事件、歌舞伎町ビル火災、Suicaサービス開始、ETCサービス開始 平成14年(2002) 沖縄返還30周年、小中高で週休2日征、拉致被害者5名帰国、EU域内通貨をユーロに統合 平成15年(2003) 六本木ヒルズオープン、十勝沖地震発生、SARS世界的に大流行 平成16年(2004) 新潟県中越地震発生 平成17年(2005) JR福知山線脱線事故、郵政民営化法案成立、TV・ラジオでタバコCM全面禁止 平成18年(2006) 安倍晋三内閣発足、ワンセグ放送開始 平成19年(2007) 夕張市財政破綻、福田康夫内閣発足、日本郵政公社解散・日本郵政株式会社発足、能登半島地震・中越沖地震発生 平成20年(2008) 秋葉原通り魔事件、岩手・宮城内陸地震発生、洞爺湖サミット開催、麻生太郎内閣発足、リーマンショック発生 平成21年(2009) 裁判員制度スタート、駿河湾地震発生、第45回衆院選挙で民主党308議席獲得、鳩山由紀夫内閣発足、Windows 7 発売

今年の漢字

2000(金) シドニー五輪で女子マラソン（高橋尚子）女子柔道（田村亮子）が金メダル。
2001(戦) アメリカで同時多発テロ事件発生。対テロ戦争。
2002(帰) 北朝鮮に拉致された被害者5人日本に帰国。日本経済がバブル前期の水準に戻る。
2003(虎) 阪神タイガース18年ぶりのリーグ優勝。イラク戦争勃発し「虎の尾を踏む」ような自衛隊のイラク派遣。
2004(災) 新潟中越地震発生、21年ぶりの浅間山噴火、過去に例のない台風の上陸で記録的な被害。
2005(愛) 愛知県で「愛・地球博の開催」。紀宮様のご成婚。卓球の福原愛選手の中国での活躍
2006(命) 悠仁様のご誕生。いじめによる小・中学生の自殺問題。命の大切さを再認識。
2007(偽) 食品、政治、スポーツなど様々な分野で偽りが発覚。
2008(変) 日本の総理大臣の交代。株価や為替による経済の変化。世界的な気象の変化（温暖化）
2009(新) 民主党中心の新政権発足、アメリカではバラク・オバマ新大統領が就任。新型インフルエンザの流行。

発足 41 年から 50 年:平成 22年(2010 年)～ 平成 31 年(2019 年)		
風月会の出来事		
平成 22 年 (2010)	5月29日	春季総会開催（信濃町キャンパス）
	10月30日	秋季総会開催（信濃町キャンパス）
平成 23 年 (2011)	3月	義塾から東日本大震災義援金協力の呼びかけがあり、義塾を通して東日本大震災義援金（30 万円）に募金。
	5月28日	春季総会開催（信濃町キャンパス）
	10月29日	秋季総会開催（信濃町キャンパス）
平成 24 年 (2012)		 4 代目会長 吉野肇一（元看護医療学部教授）就任（会員数 387 名）
	5月26日	春季総会開催（信濃町キャンパス）
	10月27日	秋季総会開催（信濃町キャンパス）
平成 25 年 (2013)	6月1日	春季総会開催（信濃町キャンパス）
	10月26日	秋季総会開催 第 1 回ミニ講演「認知症予防と早期発見」神経内科 伊東大介
平成 26 年 (2014)	5月31日	春季総会開催（信濃町キャンパス）規約の全面的改正案承認
	10月31日	秋季総会開催（信濃町キャンパス） 第 2 回ミニ講演「メタボをめぐる検査値判定について」腎臓内分泌代謝内科 目黒 周
		慶應風月会の旗を作成 
平成 27 年 (2015)	1月10日	慶應風月会ホームページ開設 
	5月30日	春季総会開催（信濃町キャンパス）
	10月31日	秋季総会開催（信濃町キャンパス） 第 3 回ミニ講演「大往生の創造」よみうりランド慶友病院長 厚東篤生
平成 28 年 (2016)	5月28日	春季総会開催（信濃町キャンパス）
	10月29日	秋季総会開催（信濃町キャンパス） 第 4 回ミニ講演「福澤諭吉の死生観」慶應義塾大学名誉教授 小室正紀
平成 29 年 (2017)	5月27日	春季総会開催（信濃町キャンパス）

	10月28日	秋季総会開催（日吉キャンパス） 第5回ミニ講演『自分らしく暮らすために「100歳人生」時代に受けて』 淑徳大学教授 村上 信
平成30年 (2018)	4月	慶應風月会ホームページのアクセス件数が1万件を超える
	5月26日	春季総会開催（信濃町キャンパス）
	10月27日	秋季総会開催（日吉キャンパス）（ミニ講演中断）
平成31年 令和元年 (2019)	5月29日	春季総会開催（信濃町キャンパス）
	10月26日	秋季総会開催（信濃町キャンパス）

慶應義塾の出来事

平成23年 (2011)	5月	評議員会で塾長の任期を通算2期まで（8年）と決定
平成25年 (2013)	4月	横浜初等部開設
	5月	慶應大阪シティキャンパス開設
		清家塾長重任（2期目）
平成26年 (2014)	4月	4学期制の実施を可能とする学事日程の導入
平成27年 (2015)	10月	大学学部開設125年記念式典・講演開催
平成28年 (2016)	4月	殿町タウンキャンパス開設
平成29年 (2017)	5月	塾長に長谷山 彰選出（伝統を守り進化を続ける慶應義塾）
平成30・31年		特記事項無し

社会の出来事 平成22年(2010年)～平成31年(2019年)

平成22年(2010) 日本年金機構発足、日本航空経営破綻、菅直人内閣発足、はやぶさ地球に帰還 平成23年(2011) 太平洋沖地震発生、福島第一原発事故発生、野田佳彦内閣発足、地上デジタル放送へ移行 平成24年(2012) 復興庁発足、消費税10%法案可決、第46回衆院選挙で自民党大勝、安部晋三内閣発足・自公連立政権発足 平成25年(2013) 東証と大証が合併し株式会社日本取引所グループ発足、国の謝金1000兆円突破、インターネット選挙運動解禁 平成26年(2014) STAP細胞捏造問題、消費税が5%から8%へ、外国人旅行者3千万人突破 平成27年(2015) 東京オリンピックのエンブレム盗作疑惑、Windows10発売、安全保障関連法案可決 新生児97万人(初の100万人割れ) 平成28年(2016) 熊本地震発生、天皇陛下お気持ち表明、カジノ法案可決 平成29年(2017) プレミアムフライデー初実施、台風18号九州・四国・本州・北海道全てに上陸(史上初) 平成30年(2018) 集中豪雨で西日本で多くの河川が氾濫、築地市場83年の歴史に幕、豊洲市場開場、北海道胆振地方中東部地震発生、複数の大学医学部で入試得点操作発覚 平成31年(2019) 令和元年(2019年5月から) 第125代天皇が退位(譲位)、皇太子徳仁親王が天皇に即位され令和に改元、東池袋で87歳の男の暴走運転事故で高齢者の免許返納運動がはじまる、第25回参議院選挙で与党過半数を獲得、ラグビーW杯で日本代表初の決勝トーナメントへ、消費税8%から10%へ、台風19号首都圏直撃、多くの河川が氾濫し13都県で記録的な水害となった、沖縄県の首里城で火災が発生、新国立競技場が完成

今年の漢字

2010(暑) 夏に観測史上最高の猛暑を記録。チリの鉱山落盤事故で暑い地中からの全員無事帰還。

2011(絆) 東日本大震災・新潟・福島豪雨など大規模災害により、家族や友人など身近な人との絆。

2012(金) ロンドンオリンピックで過去最多のメダル獲得。山中伸弥京大教授ノーベル賞受賞。

2013(輪) 2020 年に行われる夏季オリンピック・パラリンピックの東京誘致成功や東日本大震災復興に向けた人々の輪。

2014(税) 17 年ぶりの消費税率の引き上げ (8%から 10%)

2015(安) 安全保障関連法案で与野党の対立。人質事件や同時多発テロ事件で人々の不安。

2016(金) リオ五輪で多くの金メダルを獲得。政治とカネの問題。

2017(北) 北朝鮮による弾道ミサイルの発射・核実験の強行。九州北部での豪雨。北海道のジャガイモ不作。

2018(災) 西日本豪雨、北海道胆振東部地震、大阪府北部地震などの自然災害。スポーツ界のパワハラなどの人為的災害。

2019(令) 2019 年 5 月から新元号「令和」。

発足 51 年から:令和2年(2020 年)～

風月会の出来事

令和 2 年 (2020)	5月30日	春季総会中止 (新型コロナウイルス感染防止のため)
	10月31日	秋季総会 (結成 50 年総会) 開催予定 (日吉キャンパス)

慶應義塾の出来事

令和 2 年 (2020)	3月10日	新・日吉記念館竣工 地上 4 階・地下 2 階建て、高さは25.8メートル、延床面積は約12,500平方メートル、最大収容人数は約10,000人  
	3月23日 3月26日	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が危惧され、感染拡大防止のため、学部卒業式 (23日) と大学院学位授与式 (26日) が中止。(式典は中止になりましたが、多くの方々に見守られながら、授与式は無事終了しました) 代わって、塾長ほか壇上者以外、一切来場者のない式典で塾長式辞、塾員代表祝辞等が動画配信された。各キャンパスでは、教室等で受け取った学位記を手し、記念撮影をする卒業生の姿が見られた。  

(卒業生の写真は慶應義塾HPから転載)

	4月1日 4月3日	学部入学式（1日）と大学院入学式（3日）を延期 秋学期入学式に参加する形で実施を検討。
	新型コロナウイルス感染防止への取組	4月3日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう学内施設の閉鎖 4月7日（火）から4月20日（月）まで予定   4月8日「緊急事態宣言」にともなう学内施設の閉鎖期間の変更 4月7日（火）から5月6日（水）まで（当初は4月20日（月）まで） 4月28日「緊急事態宣言」にともなう学内施設の閉鎖期間の変更（第2報） 5月7日（木）から当面の間（当初予定は5月6日（水）まで） 6月3日 学内施設の段階的な使用開始について 6月7日（日）までの対応 各キャンパス立入禁止、学内施設および事務室の閉鎖措置を引き続き継続。（信濃町キャンパス・慶應義塾大学病院を除く） 6月8日（月）以降の対応 各キャンパスにおける教育研究の遂行のため、ウイルス感染防止の立場から安全を確保したうえで、一部の施設の段階的な利用を実施。春学期中は、オンラインを活用した授業を実施。

社会の出来事 令和2年（2020年）～

令和2年（2020） 新型コロナウイルス関連をまとめておきます。

1月16日 日本国内で初の新型コロナウイルス感染者が神奈川県で確認、1月24日 二人目 三人目（東京都）いずれも中国から来日で、日本在住者の感染はまだなし、1月28日 日本在住者で初の感染者を確認、3月24日 東京オリンピック・パラリンピック1年程度延期を決定、4月7日 7都府県（東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、神戸）に緊急事態宣言を発出（4月7日から5月6日まで）、4月16日 緊急事態宣言を全国に拡大、5月4日 緊急事態宣言を5月31日まで延長、5月14日 39県で緊急事態宣言を解除、5月21日 大阪、兵庫、京都の緊急事態宣言を解除、5月25日 東京、神奈川、千葉、埼玉、北海道を含む、緊急事態宣言を全面解除（この時点で感染者数累計：16,627人 死者数：851人）

奥泉栄三郎氏作成の特別エポック・レター

(筆者奥泉栄三郎氏は、塾員で元慶應義塾三田情報センター司書。その後、メリーランド大学、シカゴ大学ライブラリアンとして活躍。残念ながら、福澤先生への報告を急がれたせいか、2013年7月21日に天国に旅立たれてしまいました。北米日系人移民の活躍についての労作も多く、2008年福澤諭吉西洋事情復刻版発行。)

特別エポック・レター

福澤諭吉先生殿

拝啓

天におわします先生に一筆謹んで御報告申し上げます。

遇ぐる年、慶應義塾創立一五〇年の節目に臨みまして、私共は御著「西洋事情」を最新の情報技術を用いて復刻出版いたしました。国際的に多くの方々の御協力・賛同を得た上、とくに先生の曾孫さんに当たる福澤武君(執筆当時・慶應義塾評議員会議長・三菱地所株式会社第五代社長を経て現在同社相談役)が「新序文」を寄せられ、持説の「第三の日本開国こと始め」を草してくださいました。感激至極です。むろん、第一回目は先生が明治維新前後に火をつけた一貫した開国論です。先生はご存知ないと思いますが、日本は大きな戦いに敗れ「敗戦開国期」という妙な時代がありました。これが、忘れもしない、教訓の深かった筈の第二の日本開国でございます。第三の開国とは、グローバリゼーションの波の中にあって、一国独立を越えて世界の平和、人類の幸福のために先導者の役割を果す気概を持つ時代ということであります。これは、二十一世紀の目標の一大柱となりましょう。日本人は、往年の先生の勇氣に再度学ぼうとしております。国内にあつては、上州人として勝負したい。国を出たからには日本人として勝負したい。国際人を志向したい、と。新編には、小生も四〇頁ほどの解説を編みました。いささかでも、先生を理解する上で、読者の参考情報になれば幸いです。オリジナル版の十冊を全三巻に纏めた次第ですが、原装は極力活かしましたのでご安心ください。洒落た試みとしては、慶應のスクール・カラー(三色旗)のブルー・レッド・アンド・ブルーの紐三本を「栞」(しおり)として付け読書の便を計りました。簡単に云えば、常備の紐状の栞でございます。できるだけ、原文・原装の雰囲気・環境のなかで愛読して行くことが、最も望まれる姿だと思います。そうした研究・教育のインフラ造りは、私共の主張であり主義であり夢であります。「永久保存版」の理想を掲げて企画・実行いたしました。

先生が天に逝かれたのが一九〇一年二月で満六十六歳でした。今や日本人の平均寿命は飛躍的に延びました。小生でさえ古希の旅路を越えました。この御手紙では先生亡き後の慶應義塾や日本の国情等々を綴り、最後に小生の自己紹介をも兼ねた内容としたいと思います。というのも、慶應義塾は一私学のわくをはるかに超え、日本は「極東の孤島」のイメージを脱し、産業・社会・文化を中心に世界を先導する立場に成長しました。いわば、国造りに一定の成功を収めたが故に、幾多の課題と困難を背負っています。それでも、慶應義塾は一五〇周年記念祭を前後して教育設備と環境を改善・充実させ、『福澤諭吉事典』や『慶應義塾事典』を記念出版し、アメリカのニューヨ

ーク州にはニューヨーク慶應学院（一九九〇年創立・英名：Keio Academy of New York）を創設して、伝統と精神を継承し、未来を先導すべく躍進中でございます。大学はキャンパスが六、十学部、十四研究科（大学院）の規模に達し、高校五、中学三、小学校一校という規模になっております。充実した海外交流プログラムが盛んで、これは慶應義塾の特色のひとつとなっております。

（中略）

護んでご報告申し上げます。平成二十年十一月八日「慶應義塾創立一五〇年記念式典」が横浜市の日吉キャンパスで執り行われました。関係者約一万人が集まり、先生の提唱した「独立自尊」の精神を今後も貫くことを誓い合いました。天皇・皇后陛下も御出席され、お言葉がありましたので、別枠で本状にその全文を添えさせていただきます。どうぞ、ごゆっくりとご覧ください。（資料添付略）奇遇にも、只今小生が住んでいるイリノイ州シカゴ市の郊外に、陛下とはクラス・メイトの仲であった科学者が住んでおられ、親しく皇居や皇室のお話を伺った思い出があります。残念ながら、この方も今や長逝されてしまいました。

先生の文章と英文原著の照合勉強はなかなか面白いです。というより、訳出・新造語創出の際の苦汁が、伝わって参ります。『學問のすゝめ』冒頭における「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」は、先生の永遠の言葉として今日まで伝わっております。これは、やはり、亜米利加の独立宣言書からヒントを得たのでしょうか？ 先生御自身は明言されておられませんが、「といへり」と文章が続いているので、〈アメリカ辺りでは広くそう云われている〉というのが真相でしょう。一七七六年七月四日の独立文書には、We hold these truths to be self-evident, that all men are created equal, that they are end-owned by their creator with certain unalienable Rights, that among these are Life, Liberty, and the pursuit of Happiness. と記されております。また、先生の「引用」を英語に反訳すれば、It is said that Heaven does not create one man above others and another below, As born from Heaven, all men are equal, without any distinction between noble and base, high and low, となりましょう。どうも、先生は、当時の社会的抵抗を甘受しながら『西洋事情』と『學問のすゝめ』などの御著を中心に、自然法上の人間の権利（基本的人権）や自由や平等を、何んとしても日本に伝えたかったように見受けられます。へこたれず、その主張精神が一貫していたことは、私どもの胸を強く打つところです。というのは、この課題は『學問のすゝめ』の冒頭有名句が発せられて約一四〇年も経った今、道程はまだ半ばというのが「世界事情」でございます。

先生が、御著『西洋事情』をして福澤諭吉「訳編」とせずに「纂輯」としたのに、先生の知恵と時代色を感じます。今では、註記とか引用文献といわれるコラム情報が、この書物では例言・備考・小引の言葉で各冊の頭の方に出ておりますね。これらの情報により、現在では先生が本書纂輯の際に利用された原著（英文）はほぼ完全に解明されております。ただ、書名や個人名をそれらの発音に従いカタカナ表記（例えばオハヨ）、または漢字の当て字（例えば人名としての華盛頓）などなどに振り仮名とか原綴りがなく、読者は往生します。私の想像では、当時の一般の人々にも難しかったとおもわれ、現代の若者も判読は客易ではないのだと思います。生前、先生が危惧なされていたように、書物は飛ぶように売れ捌けたが、解説できた人は、そう多くはなかったことでしょう。啓蒙書として申し分ない書物なので、ルビ（フリカナ）を付けて欲しかった、という発行当初の投稿書評を読んだこともあります。もっとも、先生は注意深かったと思います。「西班牙」や「閻龍」

には、それぞれ「イスパニヤ」、「コロンビッス」（コロンブスのこと）と、それら漢字の左横にフリカナを付けておりますね。この慣習は現在でも生きておりまして、難読・難意の言葉にはそれらの右側にフリカナを、あるいは続けて括弧を使用して、読者の手助けをしております。原綴りの併記は、特に学術書・学術論文において、必携事項となりました。今回、私は『西洋事情』の書名を Things European and American と訳しておきました。その根拠は、今日では西洋は「ヨーロッパ」でありまして、必ずしも「アメリカ」が入っていない点と、この書物の初編の巻之二が「亜米利加合衆国」を見事に理解した記述となってる点からです。先生は、多分、維新前後の世相を憚って、タイトルから「アメリカ」や「欧米」色を意識的に除いた事情もあったのだと思います。ただし、Thing's Western (WIKIPEDIA 式) や Conditions in the West (ブリタニカ方式) という訳し方にも十分同調いたします。敢えて云えば、実学・科学技術・社会施設・機関・産業に力点をおけば Things が相応しく、政治・社会・文化に力点をおけば Conditions が適当でしょうね。

最後になりましたが、少々、自己紹介をしておきます。お許しください。小生は、上州群馬県の生まれです。慶應義塾大学を卒えた後約十年ほど慶應義塾図書館に奉職し、使命を得てインターン（研修生）としてメリーランド大学図書館に派遣されました。時に三十歳代初め、一九七四年の出来事でした。この年代前後の先生はといえば、幕末・明治維新に直面し蘭学塾を慶應義塾と命名したり、『西洋事情』を書き始めたりして本格的な啓蒙運動を開始した時代だったですね。私の場合は派遣期限が一年間でしたので、米国国内旅行を含めて家族四人で楽しく過ごしました。ところが、こともあろうに、考えるところがあり現地で日本の職場を辞しアメリカにのこりました。しばらくしてメリーランド大学に専門職として本採用になり、ここでも約十年間頑張りました。幸い、それなりの成果を挙げました。「ブラング文庫」というものの整理に一応のルールを敷くことが出来、マイクロフィルムの形で、日本に里帰りさせ、学会に寄与することかできました。紙屑らしきもの・謄写版出版物・原稿・校正刷り・英文翻訳もの、ペラペラもの、といった資料に、ライブラリアンといった立場から注目しました。この調査と作業が、その後の私の仕事上の人生の原点となったことはいまでもありません。さらにその後、この成績のお陰でシカゴ大学図書館に招聘され、今日に至っております。先生もお立ち寄りになったシカゴの街は、あの歴史上の「大火」から立ち上がり、文化・産業・学術の大都市として繁栄しております。私は勤務先のシカゴ大学（私立大学）を、私にポジティブな機会を与えてくれた機関として信奉しております。良い仕事を続けております。その一環に『初期在北米日本人の記録』の復刻出版事業も含まれ、その中に先生の名作『西洋事情』を加えることが出来たことは、まさに「恩寵の光」となりました。二〇〇四年の日米交流一五〇周年記念祭には外務大臣表彰も受けました。この光を心のなかの太陽として、自分を照らし、後輩を見守るべくこの先も頑張って行きます。何卒、御指導の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

二〇一一年七月十一日

慶應義塾大学文学部図書館学科第十三期生　〈昭和三十九年度（昭和四十年三月卒業）・慶應義塾大学法学部政治学科卒業生（昭和四十七年）・慶應義塾大学大学院図書館・情報学専攻課程修了生（昭和四十九年）〉

奥泉栄三郎拝



慶應風月会 結成50年記念誌

2020 年（令和 2 年）10 月 31 日 発行

編集 石川 武 ほかに 2 名

発行 慶應風月会
